

Q&A

「第7回 ビブリオバトル・インターナショナル・オオクボ・オンライン・ナイター」

1. 「ビブリオバトル」ってなんですか？

「知的書評合戦」といわれているゲームです。公式サイトもあります
(<http://www.bibliobattle.jp/>)。つぎのように進めます。

【ルール】

- ① 本を紹介する人が、読んでおもしろいと思った本を持って集まります。
- ② 順番にひとり5分間で本を紹介します。
- ③ それぞれの発表のあとに、その本の内容について質問などを2分間おこないます。
- ④ すべての発表がおわったあとに、「どの本がいちばん読みたくなったか？」の投票を、参加者全員で一票を入れて、いちばん多く集まった本を『チャンプ本』とします。

2. 大久保図書館では、今回はオンライン(Zoom)でおこないます。

- 本を紹介する人を、日本の人3人、そして外国の人を3人募集します。
- エントリーした日本の人3人と、外国の人3人の6人でゲームをおこないます。最後に『チャンプ本』を決めます。終了後は、懇談会を予定しています。

3. 外国の人は、本を紹介するときに使う言葉は、何語ですか？

たいへんかもしれませんが、日本語です。またノー原稿、ノーレジメです(メモをちょっと見るぐらいはいいです)。とにかく本を読んだ思いを、その人らしく表現します。以前にあったことですが、ブラジルのミュージシャンの方が、ポルトガル語で書かれたボサノバの本を紹介していましたが、持ち時間で歌を歌いだしました。でも、これも「OK」です。会場は



ばくしやう うず
爆笑の渦でした。

4. 紹介する本は、小説などの読みものではないといけませんか？

えほん しやしんしやう がいこくご ほん にほん はつぱい あら
絵本、マンガ、写真集、外国語の本でもOKです。たとえば、日本で発売されていないアラ
びあご か ほん か こ かいさい かた ねぱーるご か
ビア語で書かれた本でもOKです。過去の開催で、ネパールのの方が、ネパール語で書かれ
しょうせつ さんか かいじやう きやうみしんしん
た小説で参加をし、会場は、興味津々できいていました。

5. 趣旨をおしえてください。

ひと とお ほん し ほん とお ひと し びぶりおぼとる しゆし
「人を通して本を知る、本を通して人を知る」がビブリアバトルの趣旨ですが、
これに加えて、「本を通しての国際交流」をめざしています。

6. ほかに知っておくことはありますか。

- 外国の人にとっては、ある程度の日本語力が必要になりますが、日本語スピーチコンテストのように、流ちょうな日本語で発表をするものではありません。また日本語の能力を競うものでもありません。
 - ハプニングは、しょっちゅう起こります。
- ことば じかんはいぶん さいしよ
言葉につまってしまう、時間配分をまちがえる・・・、はあたりまえ。最初にかんたんに
じ こしょうかい ぶんはん ほん びやう はな
自己紹介するつもりが、4分半もしゃべってしまい、本のタイトルだけ 10秒だけ話した
おばあちゃんもいます。でも、ぜんぶ「OK」です。
 - 本が好きな人の集まりです。後ろのほうで、観覧しているだけでも「OK」です。

※お聞きになりたいことがありましたら、大久保図書館にお問い合わせください。

しんじゆくくりつ おおくほとしよかん
新宿区立大久保図書館 Tel: 3209-3812

